



令和4年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年5月10日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

四半期報告書提出予定日 令和4年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年12月期第1四半期の連結業績(令和4年1月1日～令和4年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年12月期第1四半期	17,472	0.9	138		112		144	
3年12月期第1四半期	17,635	3.6	252	304.1	276	484.5	159	

(注) 包括利益 4年12月期第1四半期 130百万円 (%) 3年12月期第1四半期 332百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年12月期第1四半期	2.42	
3年12月期第1四半期	2.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年12月期第1四半期	50,714	21,478	38.4
3年12月期	52,280	22,045	38.3

(参考) 自己資本 4年12月期第1四半期 19,487百万円 3年12月期 20,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
3年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年12月期				7.00	7.00
4年12月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年12月期の連結業績予想(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	1.4	300	75.1	300	76.3	100	66.6	1.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年12月期1Q	65,586,196 株	3年12月期	65,586,196 株
期末自己株式数	4年12月期1Q	6,153,439 株	3年12月期	6,153,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年12月期1Q	59,432,776 株	3年12月期1Q	59,433,658 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

○第1四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、W I T Hコロナでの経済活動・社会活動の正常化に向けた動きが再開されつつあります。一方で、変異株の再拡大や中国経済の減速懸念に加え、ウクライナ情勢の緊迫化、原材料価格の更なる高騰など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸とした諸施策を引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、17,472百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面では、原料である粗留アルコールやコーン価格の大幅な高騰などの影響を受け、138百万円の営業損失（前年同期は252百万円の営業利益）、112百万円の経常損失（前年同期は276百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は144百万円（前年同期は159百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年3月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
酒類	和酒部門		
	焼酎	7,995	95.1
	チューハイ	2,866	110.1
	清酒	785	101.7
	合成清酒	362	91.6
	販売用アルコール	2,191	96.3
	みりん	141	70.2
		14,342	97.8
	洋酒部門	936	106.4
	その他の部門	139	98.1
		15,418	98.3
加工用澱粉		939	103.2
酵素医薬品		1,002	106.4
不動産		95	111.6
その他		16	104.3
	合 計	17,472	99.1

【酒類事業】

酒類事業におきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。飲用シーン別においては、家飲みの定着により、チューハイなどのR T D分野に加えて、居酒屋の味を自宅で自分好みに楽しむことができる“チューハイの素”と呼ばれる、割って飲む希釈タイプのリキュール（R T S）が伸張しておりますが、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う酒類提供自粛などの影響が続き、飲食店向けの焼酎等が減少しております。このような環境の下、売上高は15,418百万円（前年同期比1.7%減）となりました。また、利益面につきましては、301百万円の営業損失（前年同期は64百万円の営業損失）となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、本格焼酎の「博多の華」シリーズが好調に推移したものの、P B商品等の減少により、売上高は減少いたしました。同カテゴリーでは、しそ焼酎「鍛高譚」とSNSを中心に人気の漫画「毎日のでどり」がコラボレーションしたオリジナル漫画を、しそ焼酎「鍛高譚」公式T w i t t e rアカウントで公開し、「鍛高譚×毎日のでどりオリジナルマンガ公開記念キャンペーン」を実施するなど、商品認知向上と、若年齢層のファン獲得を目指した施策を実施しております。

チューハイなどのR T D分野につきましては、P B商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリーでは、酒類を取り扱う企業の社会的責任として、N B商品において、商品1本あたりに含まれる純アルコール量（g）の商品パッケージへの表示を順次開始するなど、適正飲酒の推進に向けた取組みを強化しております。併せて、商品パッケージの表示内容に使用するフォントを、あらゆる人が読みやすく読み間違えにくいユニバーサルデザイン

フロントへの変更を進めており、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を通じて社会の課題解決に取り組んでおります。

清酒につきましては、市場の低迷が続いておりますが、「福德長 米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米酒 バック」が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

販売用アルコールにつきましては、酒類原料用アルコールが増加したものの、消毒用アルコール等の原料となる工業用アルコールが減少したことにより、売上高は減少いたしました。

洋酒部門につきましては、炭酸水で割るだけで手軽にレモンサワーを楽しむことができる、RTSの「酎ハイ専科 レモンサワーの素」やPB商品のほか、「ウイスキー 香薫(こうくん)」が好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリーでは、糖類無添加で果汁にこだわり、5つの厳選したレモン素材を使用した「酎ハイ専科 贅沢 レモンサワーの素」をワンランク上の味わいを楽しみたいお客様のニーズにお応えすべく、発売しております。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、原料であるコーン価格の大幅な高騰に対応するべく、販売価格の改定に取り組んだことにより、売上高は939百万円(前年同期比3.2%増)となりました。しかしながら、急激な原価上昇に追いつかず、68百万円の営業損失(前年同期は8百万円の営業利益)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、酵素部門における海外での販売が好調に推移し、売上高は1,002百万円(前年同期比6.4%増)となりました。しかしながら、原料価格及びエネルギー価格の高騰等による原価の上昇や製品構成の影響により、営業利益は171百万円(前年同期比32.9%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業につきましては、売上高は95百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は53百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、50,714百万円となり、有形固定資産は増加したものの、売上債権が減少したため、前連結会計年度末と比較し1,566百万円の減少となりました。

負債につきましては、29,236百万円となり、短期借入金が増加したものの、未払酒税や仕入債務が減少したため、前連結会計年度末と比較して998百万円の減少となりました。

純資産につきましては、21,478百万円となり、前連結会計年度末と比較して567百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払い等による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、令和4年2月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990	766
受取手形及び売掛金	16,295	13,005
商品及び製品	5,710	6,538
仕掛品	200	226
原材料及び貯蔵品	1,955	1,681
その他	463	604
貸倒引当金	△18	△10
流動資産合計	25,596	22,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,053	26,059
減価償却累計額	△19,282	△19,396
建物及び構築物(純額)	6,770	6,663
機械装置及び運搬具	36,076	36,226
減価償却累計額	△30,192	△30,392
機械装置及び運搬具(純額)	5,883	5,834
土地	9,620	9,620
建設仮勘定	1,277	2,458
その他	1,857	1,832
減価償却累計額	△1,646	△1,633
その他(純額)	210	198
有形固定資産合計	23,763	24,775
無形固定資産		
のれん	7	6
その他	291	395
無形固定資産合計	298	402
投資その他の資産		
投資有価証券	1,404	1,456
繰延税金資産	891	947
退職給付に係る資産	17	18
その他	313	307
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,622	2,723
固定資産合計	26,684	27,901
資産合計	52,280	50,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,699	3,785
電子記録債務	1,624	1,292
短期借入金	3,700	8,425
未払金	4,400	3,505
未払酒税	8,726	5,556
未払法人税等	147	70
賞与引当金	60	321
役員賞与引当金	17	4
株主優待引当金	18	18
設備関係支払手形	159	34
設備関係電子記録債務	76	284
その他	1,720	1,170
流動負債合計	25,350	24,470
固定負債		
長期預り金	3,140	3,002
繰延税金負債	164	173
役員株式給付引当金	101	101
退職給付に係る負債	1,282	1,313
資産除去債務	53	53
その他	142	121
固定負債合計	4,884	4,766
負債合計	30,235	29,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,601	5,601
利益剰余金	8,563	7,986
自己株式	△1,578	△1,578
株主資本合計	19,532	18,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	388
繰延ヘッジ損益	53	72
退職給付に係る調整累計額	71	70
その他の包括利益累計額合計	480	530
非支配株主持分	2,032	1,990
純資産合計	22,045	21,478
負債純資産合計	52,280	50,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年3月31日)
売上高	17,635	17,472
売上原価	14,667	15,164
売上総利益	2,967	2,307
販売費及び一般管理費	2,715	2,446
営業利益又は営業損失(△)	252	△138
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
受取賃貸料	18	16
為替差益	10	16
雑収入	12	14
営業外収益合計	46	53
営業外費用		
支払利息	13	16
操業休止等経費	6	6
雑損失	3	4
営業外費用合計	23	27
経常利益又は経常損失(△)	276	△112
特別利益		
その他	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	27	14
製品回収関連損失	-	82
その他	6	0
特別損失合計	33	97
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	242	△209
法人税等	79	△29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162	△180
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△36
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159	△144

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162	△180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	34
繰延ヘッジ損益	74	17
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	169	50
四半期包括利益	332	△130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329	△93
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来、販売費及び一般管理費として計上していた一部の費用について、当第1四半期連結会計期間より顧客に支払われる対価として、売上高から控除しております。また、従来、主に船積時に収益を認識していた輸出取引について、財又はサービスを顧客に移転し、当該履行義務が充足された時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が62百万円減少し、売上原価は3百万円増加し、販売費及び一般管理費は65百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高は13百万円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	15,681	909	942	85	17,619	16	—	17,635
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	—	—	—	0	—	△0	—
計	15,682	909	942	85	17,620	16	△0	17,635
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△64	8	256	49	249	2	—	252

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年1月1日 至 令和4年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	15,418	939	1,002	95	17,455	16	—	17,472
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	—	—	—	0	—	△0	—
計	15,419	939	1,002	95	17,455	16	△0	17,472
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△301	△68	171	53	△144	6	—	△138

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「酒類」の売上高は48百万円減少、「加工用澱粉」の売上高は13百万円減少しておりますが、セグメント利益に与える影響はありません。

令和4年12月期 第1四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和4年5月10日

1. 要約連結損益計算書

単位:百万円

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 3月31日	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年 3月31日		
酒類事業	15,681	15,418	△ 263	98.3
加工用澱粉事業	909	939	29	103.2
酵素医薬品事業	942	1,002	59	106.4
不動産事業その他	101	112	10	110.4
売上高	17,635	17,472	△ 163	99.1
売上原価	14,667	15,164	497	103.4
売上総利益	2,967	2,307	△ 660	77.8
販売費及び一般管理費	2,715	2,446	△ 269	90.1
酒類事業	△ 64	△ 301	△ 237	-
加工用澱粉事業	8	△ 68	△ 77	-
酵素医薬品事業	256	171	△ 84	67.1
不動産事業その他	51	59	7	114.0
営業利益	252	△ 138	△ 391	-
営業外収益	46	53	6	114.7
営業外費用	23	27	4	119.1
経常利益	276	△ 112	△ 388	-
特別利益	0	-	△ 0	-
特別損失	33	97	63	287.9
税金等調整前四半期純利益	242	△ 209	△ 452	-
法人税等合計	79	△ 29	△ 108	-
四半期純利益	162	△ 180	△ 343	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	△ 36	△ 39	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	159	△ 144	△ 303	-
1株当たり四半期純利益(円)	2.69	△ 2.42	△ 5.11	-

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記の連結業績(当第1四半期連結累計期間)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。(売上高:酒類△48百万円、加工用澱粉△13百万円)

2. セグメント別売上高

単位：百万円

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 3月31日	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年 3月31日		
焼酎	8,411	7,995	△ 416	95.1
（ 甲 類 焼 酎 ）	(2,922)	(2,698)	(△ 223)	(92.3)
（ 乙 類 焼 酎 ）	(5,488)	(5,296)	(△ 192)	(96.5)
チ ュ ー ハ イ	2,603	2,866	263	110.1
清 酒	772	785	12	101.7
合 成 清 酒	395	362	△ 33	91.6
販 売 用 ア ル コ ー ル	2,275	2,191	△ 84	96.3
み り ん	201	141	△ 60	70.2
洋 酒	879	936	56	106.4
そ の 他	142	139	△ 2	98.1
酒 類 計	15,681	15,418	△ 263	98.3
加 工 用 澱 粉	909	939	29	103.2
酵 素 医 薬 品	942	1,002	59	106.4
不 動 産	85	95	9	111.6
そ の 他	16	16	0	104.3
合 計	17,635	17,472	△ 163	99.1

3. 利益増減要因

単位:百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 237	売上高減少による総利益減△30 原材料コストの上昇による原価増△600 電力費など製造経費の増△30 販売促進費など販管費の減+230 製品構成の影響等+193
加工用澱粉事業	△ 77	原料(コーン)価格の高騰
酵素医薬品事業	△ 84	原材料コストの上昇および製品構成による原価増
不動産事業その他	7	
営業利益	△ 391	
営業外収益	6	
営業外費用	△ 4	
経常利益	△ 388	
特別利益	△ 0	
特別損失	△ 63	製品回収関連損失の増
税金等調整前四半期純利益	△ 452	
法人税等	108	
四半期純利益	△ 343	
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 303	

4. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和3年12月31日	当第1四半期 連結会計期間 令和4年3月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	990	766	△ 224	77.4	
受取手形及び売掛金	16,295	13,005	△ 3,289	79.8	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,866	8,446	579	107.4	
その他	463	604	141	130.6	
貸倒引当金	△ 18	△ 10	8	-	
流動資産合計	25,596	22,813	△ 2,783	89.1	
建物	5,064	4,983	△ 81	98.4	
土地	9,620	9,620	-	100.0	
その他	9,077	10,171	1,093	112.0	銀座ビル跡地開発建設仮勘定の増
有形固定資産計	23,763	24,775	1,012	104.3	
無形固定資産	298	402	103	134.6	
投資有価証券	1,404	1,456	51	103.7	
長期前払費用	105	99	△ 5	94.5	
繰延税金資産	891	947	55	106.2	
その他	225	225	0	100.2	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,622	2,723	101	103.9	
固定資産合計	26,684	27,901	1,216	104.6	
資産合計	52,280	50,714	△ 1,566	97.0	

単位:百万円

	前連結会計年度 令和3年12月31日	当第1四半期 連結会計期間 令和4年3月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,324	5,078	△ 1,246	80.3	
短期借入金	3,700	8,425	4,725	227.7	
未払金	4,400	3,505	△ 894	79.7	銀座ビル跡地開発工事費の減
未払酒税	8,726	5,556	△ 3,169	63.7	季節要因による売上高減
その他	2,199	1,904	△ 294	86.6	未払消費税、未払法人税の減
流動負債合計	25,350	24,470	△ 880	96.5	
その他	4,884	4,766	△ 118	97.6	
固定負債合計	4,884	4,766	△ 118	97.6	
負債合計	30,235	29,236	△ 998	96.7	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,601	5,601	0	100.0	
利益剰余金	8,563	7,986	△ 577	93.3	
自己株式	△ 1,578	△ 1,578	△ 0	-	
株主資本合計	19,532	18,956	△ 576	97.0	
その他有価証券評価差額金	354	388	34	109.6	
繰延ヘッジ損益	53	72	18	134.0	
退職給付に係る調整累計額	71	70	△ 1	97.4	
その他の包括利益累計額合計	480	530	50	110.5	
非支配株主持分	2,032	1,990	△ 41	98.0	
純資産合計	22,045	21,478	△ 567	97.4	
負債純資産合計	52,280	50,714	△ 1,566	97.0	

自己資本比率(%)	38.3	38.4	0.1		
-----------	------	------	-----	--	--

5. 連結業績予想

単位:百万円

	前連結会計年度 自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	当連結会計年度 自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	71,099	69,482	△ 1,616	97.7
加工用澱粉事業	3,810	4,194	384	110.1
酵素医薬品事業	3,277	3,289	11	100.4
不動産事業その他	431	533	102	123.6
売上高	78,618	77,500	△ 1,118	98.6
売上原価	65,967	65,890	△ 76	99.9
売上総利益	12,651	11,609	△ 1,042	91.8
販売費及び一般管理費	11,444	11,309	△ 135	98.8
酒類事業	499	△ 348	△ 848	-
加工用澱粉事業	△ 59	△ 103	△ 44	-
酵素医薬品事業	566	502	△ 64	88.7
不動産事業その他	200	249	49	124.4
営業利益	1,207	300	△ 907	24.9
営業外損益	60	0	△ 60	-
経常利益	1,267	300	△ 967	23.7
特別損益	△ 802	△ 200	602	-
税金等調整前当期純利益	464	100	△ 364	21.5
法人税等合計	203	48	△ 154	24.0
当期純利益	261	51	△ 209	19.6
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 37	△ 48	△ 10	-
親会社株主に帰属する当期純利益	299	100	△ 199	33.4

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(当連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。

6. 予想売上高

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日		
焼 酎	38,369	38,367	△ 2	100.0
(甲 類 焼 酎)	(13,541)	(13,856)	(315)	(102.3)
(乙 類 焼 酎)	(24,828)	(24,510)	(△ 317)	(98.7)
チ ュ ー ハ イ	12,482	12,694	212	101.7
清 酒	3,320	3,259	△ 60	98.2
合 成 清 酒	1,885	1,844	△ 41	97.8
販 売 用 ア ル コ ー ル	9,302	7,373	△ 1,929	79.3
み り ん	705	679	△ 25	96.3
洋 酒	4,437	4,685	247	105.6
そ の 他	594	577	△ 16	97.1
酒 類 計	71,099	69,482	△ 1,616	97.7
加 工 用 澱 粉	3,810	4,194	384	110.1
酵 素 医 薬 品	3,277	3,289	11	100.4
不 動 産	360	461	101	128.2
そ の 他	71	71	0	100.4
合 計	78,618	77,500	△ 1,118	98.6

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(当連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。